



5月4日、ウジジ浜において、花ともだちウジジ会（大山喜代美会長）が主催する第8回ウジジ浜まつりがありました。会場では、共催する江戸千家茶道教室による野点（のだて）が行われ、松尾イセ代表の指導のもと、参加者は、少し緊張した面持ちで野点に臨んでいました。

野点（のだて）でおもてなし



4月23日、あしびの郷・ちなにおいて、町老人クラブ連合会総会がありました。会では、新年度事業計画などが承認され、午後からは、18題もの演芸発表がありました。約5時間という長丁場となりましたが、会場は最後まで、活気にあふれていました。

「創造と連帯の輪を広げて」



知名ジュニアベースボールクラブが、5月8日、ペットボトルのふたやプルタブを、エコキャップ運動を推進している町青年連絡協議会に贈呈しました。※同クラブでは、現在、メンバーを募集中しています！詳しくは、次の連絡先までお問い合わせください。（連絡先・富岡 090 (9655) 3024）

2回目のエコキャップ贈呈



4月29日、大山山田ダムにおいて、第15回知名町植樹祭がありました。当日は、ヒカンザクラの植樹を予定していましたが、急遽ハイビスカスに変更となりました。参加した上城小の大山緑の少年団員たちは、「早く大きくなって」と祈りをこめるように、丁寧に植樹をしていました。

今年はハイビスカスを植樹



5月9日、下平川小において、全児童による相撲大会がありました。保護者や地域の方が応援に駆けつけ、「頑張れ！」や「押せ押せー！」など、熱のこもった声援が飛び交いました。中には、3分を超える試合後に再試合となる場面もありましたが、子どもたちは最後まで、精一杯試合をやりきりました。

下平川小学校の伝統行事



5月1日、町長室に珍しい花が贈呈されました。芦清良字の大山達徳さんが生産したオリエンタル系のソルボンヌという百合で、通常5、6輪のつぼみをつけるころ、32輪もつけていました。ソルボンヌは、丈・花ともに大きく、香りがよいのが特徴です。

奇形？ 32輪のオリエンタル百合